

普及活動情勢報告（令和4年9月分）

高吾農業改良普及所

イチゴの定植に向けて～花芽分化の検鏡～



9月12日からJA高知県佐川支所・斗賀野支所のイチゴ生産者を対象にイチゴの花芽分化の確認を実施しています。花芽を確認しないまま定植すると、花芽分化が起こらなかつたり、定植の遅れから着果数の減少などが生じます。今年は昨年比べ、気温が高かったことで花芽の形成が遅れており、定植時期を少し遅らせるよう助言を行っています。

普及所は、今後も関係機関と連携しイチゴ産地の発展に向けて支援していきます。

ニラの収量・品質向上に向けて～ニラ月例会の開催～



9月2日、JA高知県斗賀野支所でニラ月例会が開催され、9名の生産者が出席しました。

現在、施設栽培のほとんどが株養成中で、軟腐病やさび病の発生が多い時期であることから、株養成中の灌水・追肥管理及び病虫害防除について講習を行いました。生産者は施肥に関心があり、追肥の量などについて質問がありました。また、新たに構築したGAP点検支援システムについて説明しました。

普及所は、今後もJAと連携してニラの収量・品質の向上を支援していきます。

加工品の販売促進に向けて～6次産業化支援チーム会～



9月7日、仁淀川町別枝地区で「いりもち」等を製造している秋葉生活改善グループを対象に支援チーム会を開催しました。農山漁村発イノベーション地域プランナーアドバイザーを中心に、販売額向上のためには何が課題なのか現状整理を行いました。普及所、農産物マーケティング戦略課専門技術員や仁淀川町地域企画支援員からもアドバイスを行いました。話し合いの結果、衛生管理の見直しや販売計画の作成等が喫緊の課題であることが共有され、次回以降は何をどうしていくかについて作業を進めることになりました。

普及所は、今後も地域の6次産業化を支援していきます。